

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日2021年11月19日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	船橋市			代表者名	船橋市長 松戸 徹
担当者部署	総務部情報システム課			連絡先電話番号	047-436-2072
担当者役職	主事	担当者氏名	元吉 遼太郎	連絡先E-mail	
住所	273-8501 千葉県船橋市湊町2-10-25				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	質問に対して回答のスピードが速い。また回答の内容についても、他団体の事例を交えつつ、わかりやすく納得できるものを示していただけました。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、よろしくお願い申し上げます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年11月19日	15時00分	16時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	☒ 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数	
	職員	2	人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市において活動するオープンデータ利用団体である「Code for Funabashi」については約2年ほど前に設立されていたが、今年度まで活動を休止していた。今年度より活動を再開したものの、代表が変わり、これまで集まっていたのがオンラインでの活動になるなど、大きく変更があった。今後の活動について、オープンデータを利用したサービスの展開等において、資金をどのように調達するべきか、自治体との距離感はどうすれば良いか。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今後、「Code for Funabashi」とは引き続き情報交換等を行っていく。その中で健全性を保ちつつ、地域社会への貢献に向けて、協働できる関係を築いていく。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	①資金調達について サーバ利用料等については「Code for Japan」からAWSのクーポン等の支援ができそう。 Code forの活動については地域差があり、特に定まった方法等はない。法人化するところもあれば、ゆったりと活動し、法人化していないところもある。資金を集めるとすれば、法人化して自治体との契約等により調達する方法もあるが、地域ボランティアではなく仕事になってしまうため、法人化ありきはお勧めしない。（進めていく中でメリット・デメリットを検討したうえで法人化となるのであれば良いと思う。） ②今後の自治体とCode for Funabashiの関係性について 健全性を保つのは重要である。やり取りをすることもあると思うが、基本はオープンを心がけるなどすることで説明ができる状況とすることが大切。しかし、健全性を保つために距離を置きすぎるのも注意が必要。地域活動として職員の参加は望ましいが、健全性を意識しすぎると参加しなくなってしまう。しかし、業務としての参加なのか地域活動としての参加なのか境が白黒つけにくくなることも事実。説明できるようにはしておいたほうが良い。 他団体事例として、職員向けのデータアカデミーにサブ講師として参加してもらい、数年後に講師となっているケースもある。このように、活動を通じて職員とCode forがともに成長できる関係がとても望ましい。
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	Code for Funabashiの資金面について支援があることがわかったため、今後の活動幅が広がると思われる。また、現在本市と情報交換をしているがその関係性の中でつながりができたこと、お互いの情報を交換することでデータ利活用に関する知識・課題を再認識できたことで、お互いの成長につながっている。この関係性が望ましい距離間であることが分かった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容
持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）

今回、受けた支援についてCode for Funabsahiに共有し、引き続き課題の精査や改善状況を確認していくことになるため。
--

アンケートの内容と分析結果

講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。

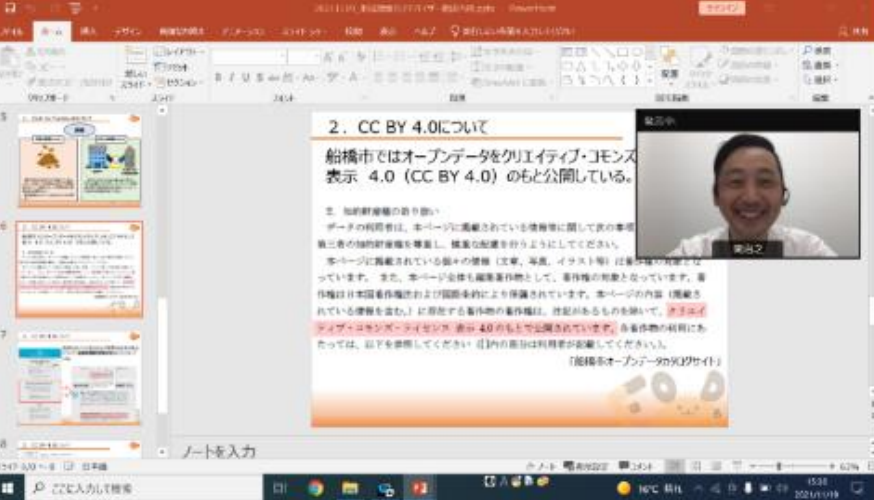
5-3. 今後の計画

最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
----------------------	-------------------

事業の最終的な目指す姿

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



2. CC BY 4.0について

船橋市ではオープンデータをクリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示 4.0 (CC BY 4.0) のもとで公開している。

2. 知的財産権の取り扱い

データの利用者は、本ページに掲載されている情報等に関して次の事項を理解した上で、第三者の知的財産権を尊重し、慎重な配慮を行うようにしてください。

本ページに掲載されている個々の情報（文章、写真、イラスト等）は著作権の対象となっています。また、本ページ全体も編集著作物として、著作権の対象となっています。著作権は日本国著作権法および国際条約により保護されています。本ページの内容（掲載されている情報を含む。）に存在する著作物の著作権は、注記があるものを除いて、**クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0**のもとで公開されています。各著作物の利用にあたっては、以下を参照してください（**[]**内の部分は利用者が記載してください）。

「船橋市オープンデータカタログサイト」

